

ヘルプシート

シンボルの解説



相手は示されている額のコインを失う（銀行に戻す）。
相手が十分なコインを持っていない場合、相手はすべてのコインを失う。



ゲーム終了時、あなたは持っている進歩トークン（これ自身を含む）1枚ごとに3勝利ポイントを得る。

この進歩を獲得したとき以降、あなたが建造したすべての軍事建造物（赤色のカード）は追加の盾シンボルを1つもたらす。
明確化: この進歩は盾シンボルを持つ七不思議や、この進歩を獲得する以前に建造された軍事建造物には適用されない。



これらの進歩を獲得したとき以降、あなたが建造した示されている建造物（青色のカードか七不思議）のコストは資源2つ分減る。
各建造ごとに、あなたはどの資源にこの割引を適用するかを自由に選ぶことができる。



即座に銀行から6コインを得る。
連鎖（無料建造条件）を通じて建造物を無料で建造するたびに、あなたは4コインを得る。



相手が資源を交易で得るためにコインを払ったとき、あなたはそのコインを得る。

これは資源を得るために支払われたコインにのみ適用され、建設コストとして支払われたコインには適用されない。

明確化: 相手が持っている交易の値引き（「Stone Reserve/石材貯蔵庫」「Wood Reserve/木材貯蔵庫」「Clay Reserve/粘土貯蔵庫」「Customs House/税関」カード）は交易のルールを変更し、あなたは相手が実際に支払ったコインだけを得ることができる。



この進歩を獲得したとき以降、あなたが建造したすべての七不思議は「もう1手番プレイ」の効果を持っていると見なされる。
すでに「もう1手番プレイ」の効果を持っている七不思議には、この効果は適用されない（1つの七不思議が「もう1手番プレイ」効果を2つ持つことはできない）。



このカードは示されている資源を生産する。



このカードは示されている値の勝利ポイントをもたらす。



このカードは示されている数の盾をもたらす。



このカード/トークン/七不思議は示されている科学シンボルをもたらす。



このカードは示されている資源の交易ルールを変更する。次の手番から、あなたは示されている資源を1つごとに1コインで銀行から購入することができる。



このカードは示されている連鎖シンボルをもたらす。以降の世代中、あなたはこのシンボルを使い、コストエリアに同じシンボルがある建造物を無料で建造することができる。



このカードは手番ごとに、示されている資源のうち1種類を1つ生産する。
明確化: この生産は交易コストに影響を与えない。



このカードを建造したとき、示されている額のコインを得る。



このカードを建造したとき、あなたの都市にある示されている要素（カードか七不思議）1つごとに1～3コインを得る。

明確化: すべてのカードについて、コインはそのカードを建造したときに銀行から1回（だけ）得る。



建造時、あなたはより多くの示されている要素を持つ都市にある、示されている要素1つごとに1コインを得る。

ゲーム終了時、このカードはより多くの示されている要素を持つ都市にある、示されている要素1つごとに1勝利ポイントの価値を持つ。

明確化:

- すべてのギルドカードについて、コインはそのカードを建造したときに銀行から1回(だけ)得る。
- ゲーム終了時、勝利ポイントを得るために選ばれた都市は、コインを得るために選ばれた都市と異なってもよい。
- 船主ギルドについて:あなたは茶色と灰色のカードを合わせて数え、都市を1つだけ選ばなければならない。



ゲーム終了時、このカードはより多くの七不思議を持つ都市に建造されている、七不思議1つごとに2勝利ポイントの価値を持つ。



ゲーム終了時、このカードはより裕福な都市が持っている3コインごとに1勝利ポイントの価値を持つ。余りは無視する。



ゲーム開始時から捨て札になったすべてのカードを取り、即座に任意の1枚を無料で建造する。

明確化:ゲームの準備中に箱に戻したカードは捨て札の一部ではない。



ゲーム開始時に箱に戻した進歩トークンから、ランダムに3枚を引く。そのうち1枚を選んで取り、残りを箱に戻す。



相手が建設している、示されている色(茶色か灰色)のカードを1枚選び、捨て札置き場に置く。



この手番の直後に2回目の手番をプレイする。

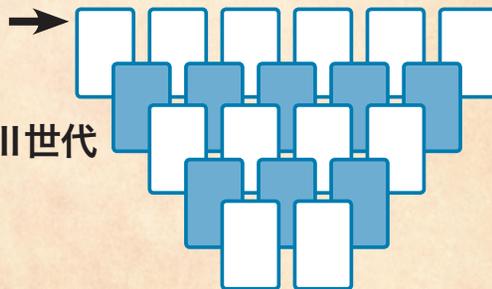
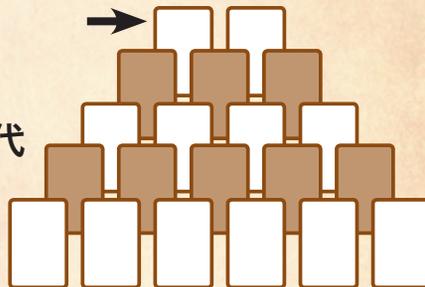
世代に応じた カードディスプレイの作り方

各世代の開始時、対応する山札をよく混ぜ、現在の世代に応じた形に20枚のカードを並べてカードディスプレイとする。

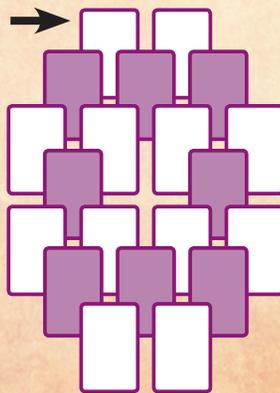
一部のカードは表向きで、他のカードは裏向きで置くことに注意。

矢印の位置からカードを置いていくと、簡単に準備することができる。→

第I世代



第II世代



第III世代

